

# 金融教育に関する 実践報告コンクール

子供たちの  
“社会の中で生きる力”を育む  
—それが「金融教育」です。



教科・領域を  
問わず  
学校での実践や計画、  
これまでの経験に基づく  
提言をお寄せください。  
先生方個人の応募に加え、  
学校としての応募も  
歓迎します。

賞

**特賞 1編**  
賞状・賞金 30万円

**優秀賞 3編**  
賞状・賞金 20万円

**奨励賞 4編**  
賞状・賞金 5万円



**9月30日**  
締切  
消印有効

# 募集要項

**応募資格** 幼稚園教諭、小学校・中学校・高等学校・高等専門学校・高等専修学校教員、教員経験者  
教職課程在籍または教職を目指す大学生、大学院生、大学教官等研究者  
※共同執筆の場合、1名でも教員が含まれていれば応募可能です。  
※先生個人の応募に加え、学校としての応募も歓迎します。

**賞** 特賞…1編(賞状・賞金30万円)  
優秀賞…3編(賞状・賞金20万円)  
奨励賞…4編(賞状・賞金5万円)

**締め切り** 2022年9月30日(金)※消印有効

**発表** 12月下旬、金融広報中央委員会ホームページ(<https://www.shiruporuto.jp/>)などで発表。

**表彰式** 12月26日(月)〈予定〉、日本銀行本店の周辺で開催。

**送付先** 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 5F 毎日企画サービス  
金融広報中央委員会コンクール事務局「金融教育に関する実践報告コンクール」係  
※インターネットの専用サイトからも応募できます。下記アドレスに接続し、画面の指示に従って  
応募フォームにより送信してください。

<https://www.ron2022.jp/>

**問い合わせ先** 金融広報中央委員会コンクール事務局 Tel. 03-6265-6818(土・日・祝日を除く10時～17時)  
金融広報中央委員会コンクール作品募集ホームページ <https://www.ron2022.jp/>



## 応募規定

文字数・資料	<b>1,000～6,000字</b> (本文のみ、途中の空白マス・空白行を含む) <b>および指導計画書(A4で2～6枚)</b> 図表、写真等の資料はA4で10枚まで添付可。 <b>本文中に挿入せず、必ず文末に添付</b> してください。 ※本文以外の添付資料には「指導計画書」「資料」等を明記してください。
形式	<b>横書き</b> を基本としてください。 ※パソコン出力原稿を郵送される場合は、可能な限り文書データを添付してください。 <b>※文末に文字数を明記してください。</b> ※字数が不足・超過している作品は審査対象となりませんのでご注意ください。
表紙	・ <b>1枚目は表紙</b> とし、作品タイトル、勤務先、(共同執筆の場合は代表者の)氏名、300字以内で <b>作品の要旨</b> を記入してください。 ・ 本文・添付資料ともに、各ページにページ番号を記載してください。
引用・転載	<b>著書、雑誌、新聞、研究発表等からの引用・転載は、必ず出所を明記してください。</b> <b>添付資料に引用・転載がある場合も必ず出所を明記してください。</b> ・ 明記方法……本文の引用箇所末尾に(※)を付し、その <b>出所を文末、または章、節の末尾に記載</b> してください。 引用が複数ある場合は(※1)(※2)のように番号を振ってください。 転載箇所に出所を明記してください。 ・ 明記する内容……著者、書名、引用ページ、出版社、出版年、新聞名、日付、ホームページ名、アドレス等 <b>写真・画像などの使用に際しては、著作権に十分留意し、出所を正確に記載してください(入賞作品の公表に際しては、転載許諾を得ていただきます)。</b>
その他	過去の入賞者自身あるいは入賞者の在籍校からの応募作品については、過去の入賞作品との差異や改善・発展度合いに着目して審査いたします。

※応募は未発表の作品に限ります(インターネット上での作品公開も発表とみなします)。また、二重投稿はご遠慮ください。

※日本語に限ります。

※作品は理由を問わず返却しません。

※入賞作品の著作権・版権は主催者に帰属します。

※規定外の作品は審査対象から除外します。

※奨励賞の作品は公表しません。

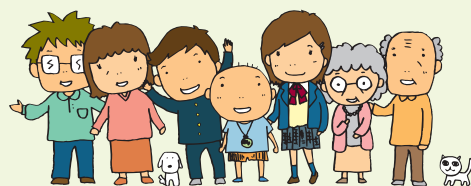
※作品公表の際には個別企業名や商品名に関する表記を変更させていただくことがありますので、予めご了承ください。

※応募の際は、最終ページの個人情報取り扱いについてご確認いただいたうえでご応募ください。

金融環境が大きく変化する中で、健全な金銭観や「生きる力」としての金融・経済感覚を持って生活できる児童・生徒を育成する「金融教育」の重要性が高まっています。

教育に携わる立場から、あるいは教職を目指している立場から、お金や金融・経済に関係のある教育について、様々な視点からの提言、ご意見をお寄せください。

多くの方からの幅広いご応募をお待ちしています！



## 募集テーマ例

テーマを決める際の参考としてご利用ください。

過去の入賞作品はこちらでご覧いただけます。  
[https://www.shiruporuto.jp/education/contest/container/concours\\_kyojin/](https://www.shiruporuto.jp/education/contest/container/concours_kyojin/)



### 1. 学校で取り組まれた実践報告

金融教育の指導計画、実践内容をご紹介いただくとともに、子どもたちの反応や成長、実践過程で直面された課題などを分かりやすくまとめてお寄せください。また、大学における金融教育の実践についても、大いに期待しています。

### 2. 学校で取り組む予定の実践計画

取り組む予定の金融教育の実践について、指導計画とその下での具体的な実践予定、期待される成果や課題などをご報告いただくことで差し支えありません。新たな視点からの取り組みについてお寄せいただくことを期待しています。

### 3. 金融教育・金銭教育研究校および金融教育研究グループで取り組まれた実践内容

都道府県金融広報委員会が開催する教育関係者向けセミナーや公開授業、金融教育(金銭教育)協議会等で発表された実践や、委嘱終了の報告として金融広報委員会にご提出済みの内容\*についても応募が可能です。

\*金融広報活動以外で発表されている場合、同一内容の作品であれば、未発表とはみなされず審査対象外となります(応募作品の内容に関連する既発表の資料については、金融広報活動以外で発表したものをできるだけお知らせください)。

## 主な審査事項

下記①から⑤の事項を主な基準として審査します。

- ①健全な金融・経済感覚を持ち、計画性を持って生活できる児童や生徒を育成するための、金融・経済の仕組み、金融商品についての基本的知識や消費者問題などに関する正しい知識を持っているか。
- ②現在の子どもたちを巡る社会・経済の状況を把握し、児童生徒に対する金融教育の重要性を認識しているか。
- ③内容が下記を踏まえた記述となっているか(具体性のある作品であることが好ましい)。
  - 1)実践の過程、児童生徒の反応や、研究の成果・課題が、わかりやすく報告されているか。
  - 2)社会に出る前の児童・生徒等にとって、短期的・長期的を問わず、効果が期待できる実践であるか。
  - 3)指導計画が添付されており、実際の取り組みが容易に把握できるか。
- ④読み手にどれだけ訴えかけるか。多くの人に読ませたい内容を含んでいるか。
- ⑤今後の学校教育の実践の場で取り組むことが可能な内容となっているか。

### 前回 審査員 (敬称略)

大杉 昭英(早稲田大学非常勤講師)  
小関 禮子(帝京大学大学院元教授)  
向山 行雄(敬愛大学教授・教育学科長)  
渡邊 昌一(日本銀行情報サービス局長)

神山 久美(山梨大学大学院教授)  
中村 新造(弁護士)  
星野 真澄(NHK制作局第2制作ユニット 社会ジャンル専任部長)  
武井 敏一(金融広報中央委員会会長)

### 金融広報中央委員会とは？

「金融広報中央委員会」(事務局:日本銀行情報サービス局内)は、都道府県金融広報委員会、政府、日本銀行、地方公共団体、民間団体等と協働して、国民に対し中立・公正な立場から「金融経済情報の提供」と「金融経済学習の支援」を行っている団体です。

